



笠ヶ岳(笠新道)

1.概要

北アルプスの何処から眺めても一見してわかる山で昔は迦多賀岳、肩岳と呼ばれていた。北アルプスの殆どが県境の山である岐阜県で、笠ヶ岳は名実共に飛騨の山で岐阜県内の最高峰である。

笠ヶ岳は槍ヶ岳の西鎌尾根より続く樅沢岳からに派生し弓折岳、抜戸岳と続く笠ヶ岳支脈の主峰であり、西側に双六谷、東に蒲田谷を配している。特に蒲田谷側は穴毛谷、クリヤ谷の切立った岩壁を巡らしている。

笠ヶ岳周辺の山の良さは、山域全体の静寂さと展望の素晴らしさである。蒲田川を挟んだ槍ヶ岳、穂高連峰の大パノラマは圧巻である。

早くから信仰の山で1674年円空上人が開山し、播隆上人も村民と共に登山したと言われており、かのウェストンも1893年に登頂している。

2.登山ルート

登山は南側の槍見温泉からクリヤ谷～北稜線を経由するルート、北側より双六小屋及び鏡平小屋を経て弓折岳、抜戸岳を経由するルート、もう1つは直接抜戸岳に突き上げる笠新道(崩落により登山口が抜戸岳直下に変更)のルートがある。

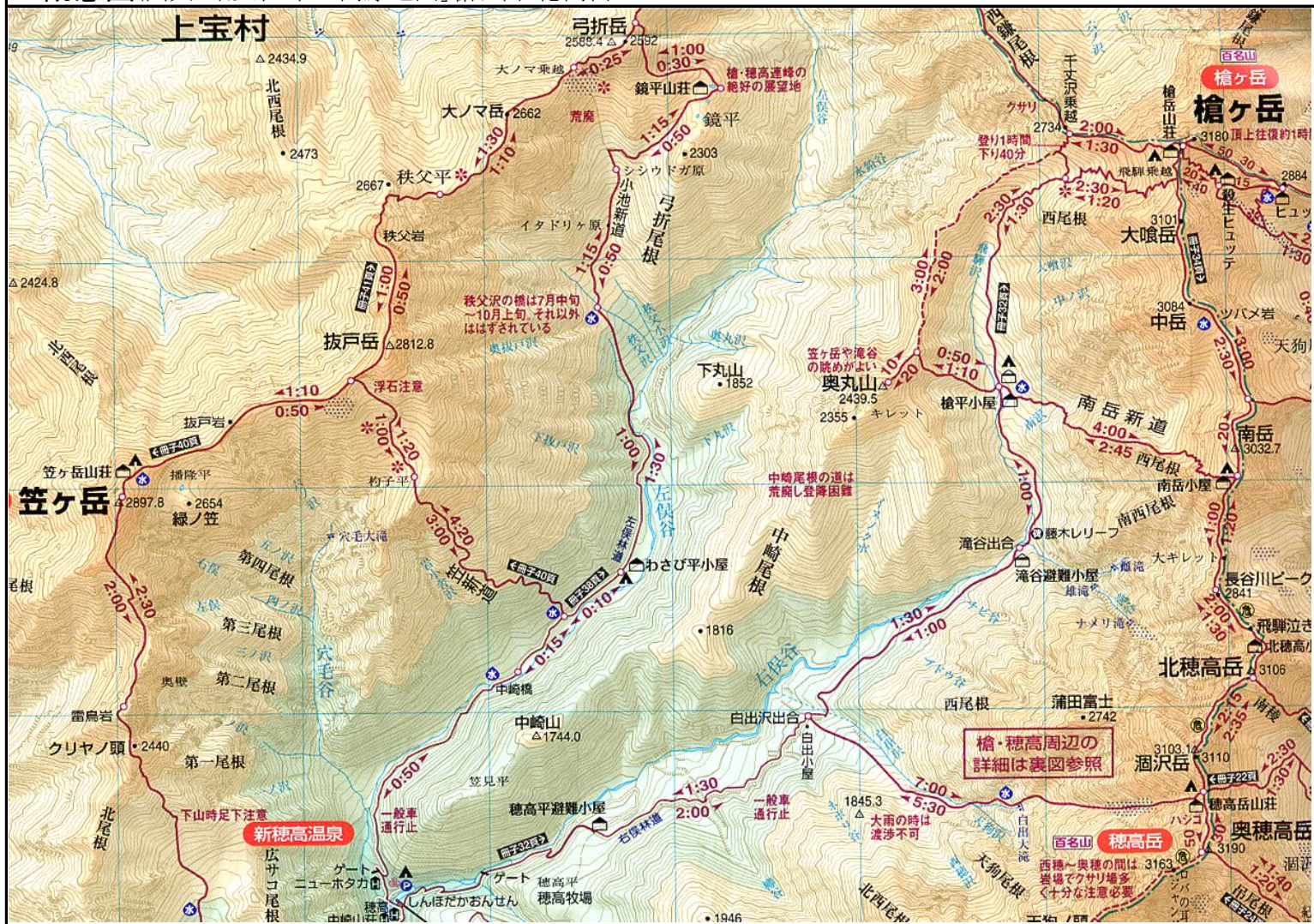
登りは鏡平小屋、弓折岳経由が一般的で下山には笠新道が多く使われる。クリヤ谷は渡渉もあり登山客は少ない。

3.ツアーのコース概要

- 1日目=新穂高温泉<林道歩き=60分> 中崎橋<林道歩き=25分> わさび平小屋<林道と河原歩き=90分> 秩父沢(小沢) <石ゴロの急な登り=70分> シシウドガ原<トラバース気味の登り=80分> 鏡平小屋
- 2日目=鏡平小屋<急な登り=100分> 弓折岳<稜線の↑↓=120分> 秩父平<稜線の↑↓=200分> 笠ヶ岳山荘(笠往復)
- 3日目=笠ヶ岳山荘<稜線のアップタウン=80分> 笠新道分岐<ガレ場の急な下り=60分> 杓子平<ジグザグと急下降=200分> 笠新道入口<林道歩き=50分> 新穂高温泉

◎1日目=約5.5時間 ◎2日目=約7時間 ◎3日目=約7時間 但し、参加者、天候条件等により変わります。

4.概念図(出典=昭文社「山と高原地図」槍ヶ岳・穂高岳)



*ツアーの集合写真、予定等はホームページ、<http://www3.ocn.ne.jp/~eikouda/>(又はヤフー等で「甲田栄作」検索)をご覧ください。Eメールはikouda@cyber.ocn.ne.jpです